

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： バイオナノ繊維界面を活かした新奇融合粒子の創製
2. 研究代表者： 横田 慎吾（九州大学 大学院農学研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、バイオマス素材が持つ両親媒特性を引き出した独特のナノ繊維を活用し、化学的に安定な樹脂マイクロ粒子上にセルロースナノファイバーを担持させ、本来馴染み難い天然素材と合成素材を融合する、全く新しい粉体材料の創製を目指した挑戦的な課題である。フェーズ1では、粒子の構造制御、カプセル粒子の創製など着実に技術開発を進めたことが評価できる。フェーズ2は、フェーズ1で得た成果に基づき、固体融合粒子の機能開発、液体融合粒子の機能開発を目指す挑戦的な計画となっており、さらに粒子の有効性や優位性を示し実用につなげることに注力頂きたい。

以上